

「京都木材規格」と「京都木材加工ネット」で京都産木材製品を安定供給します

◎京都産木材の「品質担保」 ⇒ 「京都木材規格」という統一ルールで京都産木材の品質と性能を「測定」「表示」し、品質・規格を担保

2010年木材利用促進法施行（国）

- ・「低層公共建築物は原則木造化」の義務付け

2011年木材利用の推進に関する基本方針（府）

- ・京都府及び府下全市町村が策定済み
- ・公共建築物の低層建築物の木造化・木質化を推進
- ・原則として京都府産認証木材の使用が義務付け

しかし、現状は

- ・公共工事等に求められる品質性能表示制度のJAS制度は中小製材工場には取得のハードルが高い。実際京都府内にはJAS工場はわずか。

「京都産材かつ品質性能を表示した木材」という需要を満たせない

解決策として

- ・京都産材の品質性能を表示するために、京都の木材業界がJAS同等の品質表示制度である

「京都木材規格（KTS）」を策定

京都府の方針

率先利用と民間需要の喚起

～府内産木材利用推進本部～

- 京都府では副知事をトップに、府を上げて府内産材の率先利用を推進
- 建築・木製品部会、土木部会に加え、民間企業・団体等での木材利用を促進する、新たな専門部会を設置
- 所管部局と連携、企業・団体に対し、京都木材規格材、WM認証材(=京都府産材)の営業活動を強化

京都木材加工ネットでKTS材を安定供給

京都木材規格（KTS）

- ①見積り・発注の目安となる「材面の品質」の業界基準の標準化
- ②構造計算に必要な「含水率・曲げ性能（ヤング率）」の表示
- ③要求される品質を満たした木材製品の安定供給

※統一基準で製品を全品検査して出荷

中丹・丹後ネット

南丹ネット

京都ネット

山城ネット

京都木材規格は「みやこ杉木認証制度」と「京都府産木材認証制度」の両方に対応

KTS材で品質性能を確保し、京都産材の需要拡大

(記入例)	
KTS 京都木材規格	
登録番号(京都府・京都府)	
12-10-04	
種別	スギ
寸法	105×105×3
曲げ強度(乾燥状態)	E90以上
含水率	SD20
等級(材面品質)	並
事業者名(検査担当者)	
株式会社〇〇製材所 (担当:〇〇)	
<small>注) 京都木材規格は「みやこ杉木認証制度」と「京都府産木材認証制度」の両方に対応しています。 ※) 京都府産木材認証制度による認証を受ける製材所、本製品を所産品の販売事業者から「京都府産木材」として表示した上で取扱いしている必要があります。</small>	

京都木材加工ネットは連携と分業体制のもとで、京都木材規格（KTS）による品質・性能の確保された製材品を確実・安定的に供給します。

公共

工事仕様書に府内産認証木材、京都木材規格（KTS）の使用を明記

民間

- ・「JAS材」「京都木材規格」に限定
- ・KTSは構造材・造作材で基準を作成

※公共建築物にKTS材の採用

- ・平成30年度は5件の利用⇒10件以上に

※緑の交付金制度の利用拡大

- ・工務店等への乾燥材（KD材）の確実な供給
- ・平成30年度は342件の利用（49,097千円）



お問い合わせは
一般社団法人 京都府木材組合連合会
TEL 075-802-2991 FAX 075-811-2593
URL <http://www.kyomokuren.or.jp/>